

背景・取組概要

切畑小学校では、令和4年度佐伯市学校教育活動チャレンジ支援事業において「科学教育」の実践研究を進めるとともに、それを踏まえた生活科・総合的な学習の時間と各教科等との関連及び単元構想・指導展開の在り方等について、夏季休業中に研修を行い2学期からの授業改善に活かそうとしている。

工夫・ポイント

- ◆具体的な事例をもとに、自校の年間指導計画の改善、単元構想・展開の見直しを行う。
- ◆探究的な学習の過程の高まりや児童の学習活動の実際についてのイメージをもつため、映像資料を活用する。
(NHK for School : ドスルコスル)

思考ツールを使ってみる



関係者の声

- ◆子どもの成果物や単元配列表・年間指導計画の朱書きを蓄積していくことが、総合的な学習の時間の充実につながる。
- ◆科学教育で育成された資質・能力を、総合的な学習の時間を中心に活用・発揮できるように工夫することで、子どもたちの学びが自覚的・連続的になる。
- ◆自覚的に学ぶ子どもは、「今日の総合では〇〇するんだよね」等、学習内容を見通した発話が見られる。



映像資料を視聴する